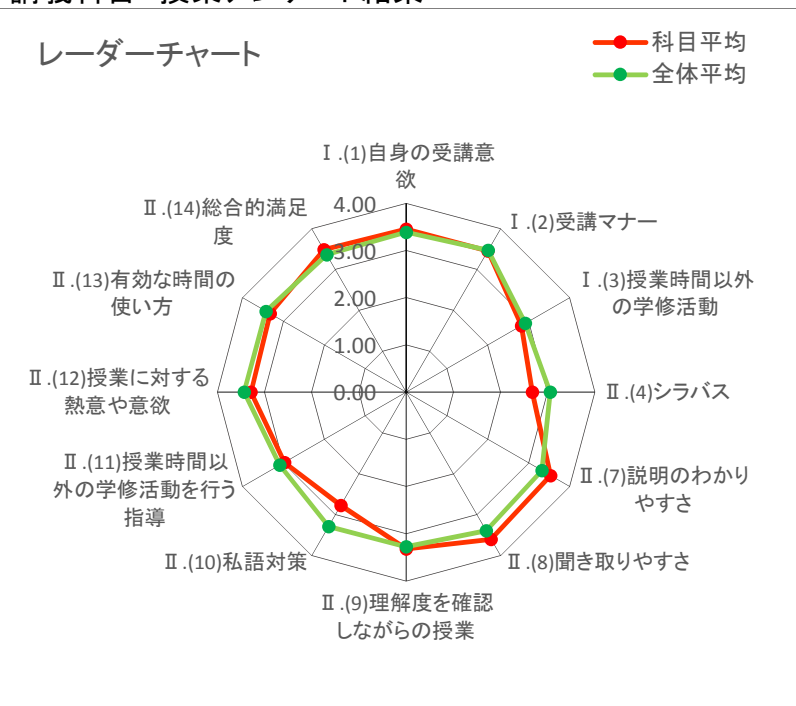
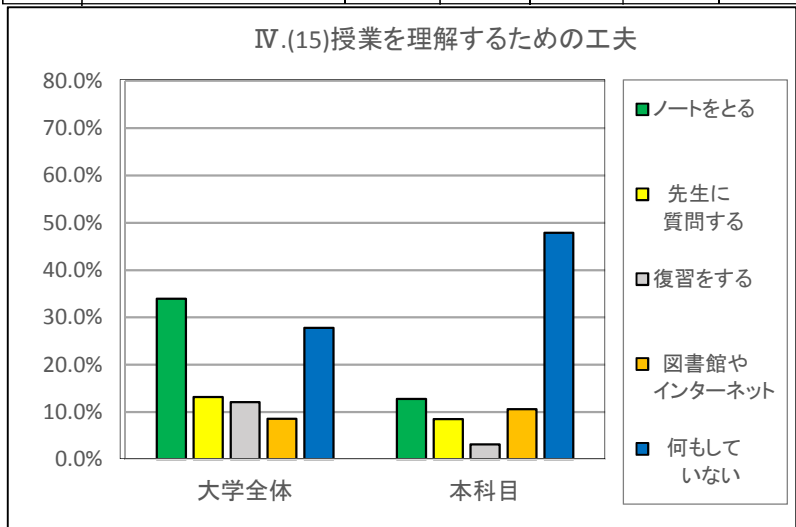


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	12.8%	8.5%	3.2%	10.6%	47.9%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.46	3.39
	I.(2)	3.46	3.47
	I.(3)	2.82	2.91
受講内容・方法	II.(4)	2.67	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.53	3.32
	II.(8)	3.60	3.39
	II.(9)	3.32	3.27
	II.(10)	2.77	3.28
	II.(11)	2.98	3.09
	II.(12)	3.29	3.43
	II.(13)	3.33	3.43
満足度	II.(14)	3.49	3.36

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.24	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.18	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.49	3.36
III.(14)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	15101
科目名	美術の理解
教員名	

①授業計画の達成度について

学生の興味関心、理解度、美術における知識の質と量を把握しながら授業構成する中で、当初の授業計画を再編しながら行った実態がある。それがII(4)シラバスにおけるアンケート調査に表れていると思われる。1年目を終え、学生の実態も把握できた中で、今後においてはシラバスに沿った授業計画を進めていく。

②授業の進め方について

授業においては、毎時間、授業者が作成したワークシートとプレゼンテーションを用いて進めた。したがって、学生自身のIV(15)授業を理解するための工夫として、「ノートをとる」必要性はなく、アンケート結果の数値も低くなったものと考えられる。今後は、質問をする機会を授業の中で持つなどし、学生が積極的に授業に関わっていく機会を意図的に作っていききたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

II(14)総合的満足度の数値は高かったが、その内容を十分に吟味する必要がある。「おもしろかった」であれば、何がおもしろかったのか。美術の知識と理解を深め、自分自身の生き方や考え方に結びつけるなど、深い学びに対する「おもしろさ」を学生が感じられるようにしていきたい。